

- 徳島市は、吉野川市、阿波市、勝浦町、東みよし町の5市町と令和元年10月18日に徳島東部・吉野川流域森林管理システム推進協議会を発足させ、市町村で行うこととなった「新たな森林管理システム」の共通の事務を合理的に行うことより、地域の適正な森林管理を目指し、森林吸収源対策の推進及び山地災害等の予防に努めていく方針。
- 令和元年度においては、意向調査の準備作業を当該協議会一丸となって取り組んだ。
 - ・ 「新たな森林管理システム」の円滑な実施の根幹となる林地台帳の整備について各市町が情報交換を行い、取り組んだ。
 - ・ 森林所有者への制度周知パンフレットの送付、相談業務、住民説明会（徳島市、吉野川市は新型コロナウイルス拡大防止のため未実施）を実施した。

□ 事業内容

1 「新たな森林管理システム」の運営

- ・ 当該協議会において、森林情報の収集、森林所有者への制度周知、問い合わせや相談に対応し、森林経営管理制度の推進に取り組んだ。

【事業費】5,881千円（全額譲与税）

【実績】森林情報の収集・分析 私有林4,787ha（うち人工林934ha）

パンフレットの送付 3,618件

相談業務 18件

意向調査計画（5ヶ年）の作成 調査対象人数3,736件

2 林地台帳の整備

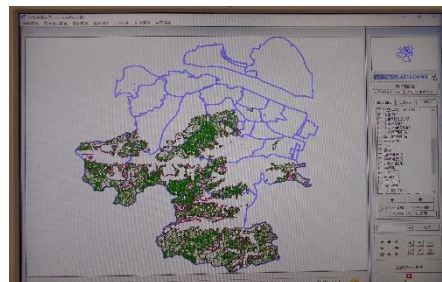
- ・ 林地台帳の精度向上のため、情報の更新等を実施。

【事業費】1,100千円（全額譲与税）

【実績】屋敷地番、外字等の解消 約750件



（事業1：協議会設立総会の様子）



（事業2：林地台帳システム）

□ 事業スキーム

1 「新たな森林管理システム」の運営



□ 工夫・留意した点

- ・ 各市町の取り組み状況や森林の状況が異なるため、まずは各々の市町で林地台帳の整備を行った。今後、意向調査の結果や森林バンクの情報については、協議会内での共有ができるように検討していく。
- ・ 森林所有者への制度周知パンフレットや、意向調査の準備等共通で実施し、効率化と省力化を図っている。

□ 基礎データ

①令和元年度譲与額	14,679千円
②私有林人工林面積（※1）	934ha
③林野率（※2）	26.4%
④人口（※3）	258,554人
⑤林業就業者数（※4）	77人

※1：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より、

※2：「2015農林業センサス」より、※3、4：「H27年国勢調査」より